



TRY SHOWA

甲府昭和高校通信

URL <http://www.syowah.kai.ed.jp/>

山梨県立甲府昭和高校

平成30年9月1日
第48号発行

電話 055-275-6177
FAX 055-275-2594

第35回紫映祭

平成30年 6月28日(木)・29日(金)・30日(土)

～平成は終わるが 昭和は終わらない～

第35回紫映祭には、2000人を超える多くの皆さんにご来校いただき、本当にありがとうございました。

七つの団の団長を中心に、全校生徒一丸となる感動の学園祭を作り上げることが出来ました。〈写真部生徒撮影〉

1日目 運動会 (昭和町総合体育館・押原公園)



リレー



応援合戦



エキサイティングウエーブ



団旗

第35回 紫映祭
平成は終わるが 昭和は終わらない

平成30年
6月28日(木)
[運動会]
29日(金)
[コラニー文化ホール]
30日(土)
[一般公開]

山梨県立甲府昭和高等学校
URL: <http://www.syowah.kai.ed.jp/>

*スリッパ(靴)持参しただがままようご参加をお願いします。*駐車場はご用意できませんのでお近くの乗換駅へご連絡ください。

2日目 開祭式・合唱コンクール・文化部発表 (コラニー文化ホール)



団長パフォーマンス



合唱コンクール



ダンス同好会



箏曲部

3日目 公開日・閉祭式 (本校)



クラス企画(3年)



クラス企画(3年)



窓絵(2年)



美術部



書道パフォーマンス



中庭出店(1年)



解団式



似顔絵

団長・部門長による TRY紫映祭プロジェクト



紫映祭の各団長・部門長による「TRY紫映祭プロジェクトのフレームワーク」を一階昇降口に掲示をしました。このプロジェクトは、すべての団長と部門長が学園祭前に取り組みの目標(身に付けたい能力)を決め、それが達成できたか(その能力が身に付いたか)を、実施後にABCの三段階で達成度を自己評価し、次へのアクションの弾みにすることを目的としています。

例えば、新聞部門では、実施前に「TRY-K(協力)」を掲げ、「協働的な活動に意欲的に取り組むという協働性の資質」を身に付けるための目標を立て、実施後には、「概ね達成できた(協働性の資質が身に付いた)」という自己評価をしました。



「資質・能力を育成する」授業実践

「資質・能力を育成する」ために、本校では、Can-doリストに基づき、実際にどのような授業をしているのか、2年5組の古典B(漢文)の授業を紹介します。授業をするのは、永井利江先生です。永井先生は、本校の卒業生で、今年の4月に赴任しました。

個 → 集団 → 個 のサイクルで「学び」を深化させる

① 導入(学習目標)

本日の単元は、名家の文章「黔之驢」(柳宗元)で、本文中で虎が喜んだ理由を考えるとという学習目標を授業の冒頭に板書して提示しました。続いて、自分の考えを書き、班で話し合い、クラス全体で発表し、再度自分に戻し考え直すという授業サイクルを説明しました。

その問いを考える前に、該当箇所の文章の読解を行いました。再読文字の読み方に注意しながら説明をしました。



② 思考力(読解)

虎が喜んだ理由をシートに記入をしていきます。周困とは相談せずに、まずは自分自身で考えてます。実際に書かせることにより、自分の考えを整理させることができます。目の前の生徒の学習状況を見ながら、生徒の思考の活性化を促すために、ヒントを出すなど、生徒の活動に配慮しながら、記入させていきます。時折本文にも帰りながら再解釈をさせ、より深い読みを促します。



国語科 永井利江(ながいとしえ)

④ 表現力(記述・発表)

グループで話し合った結果をホワイトボードに記入していきます。記入の際は、自由な形式で良いという柔軟性のある記述方式を採用しました。中にはイラストを記入したりする班もあり、これは頭の中でイメージしたことを文字化しやすくする効果があります。

発表では、和やかな雰囲気作りの工夫をして、能動的に授業に臨む学習態度を育成していきました。



③ 協働性(グループ討論)

次は、4名一班になり、先ほど記入したシートを元に、グループで各自の意見を発表し合います。グループで話し合うことにより、他の生徒の考えを知り、多面的なものの見方や発想力を養うことが出来ます。また、理解不足の生徒がいたら、教え合う班もありました。



⑤ 自己評価力(振り返りシート)

発表後は、「本日の授業を振り返って、新しく分かったこと、他の班の意見を聞いて感じたこと」をシートに記入していきました。自分たちの班の意見と他の班の意見を比較したり、他の班の意見を聞いて自分の意見を修正したりする生徒もいました。一枚のシートに、学習の成果を学習履歴として記録することにより、自己評価する能力を養いました。



生徒の感想

中井 翼 くん (2年5組クラス理事 南西中出身)

授業の最初に「学習の目標」が提示されて、今日の授業ではどんな力を身に付けるのか、授業内の学習ポイントがより明確に理解できました。また、音声のみの発表ではなく、ホワイトボードを使うことにより視覚的に他の班の意見を分かりやすく理解することができました。

蛸原 真菜 さん (2年5組クラス副理事 田富中出身)

授業の最初に、前回の授業の復習をしてくれたので、スムーズに話し合いに入ることが出来ました。班ごとに発表することにより、同じような内容でも表現が違っていたり、全く違う意見が出たり、いろいろな考え方を知ることが出来たので、発表し合うことで学びが深まると思いました。

七色「団Tシャツ」で「甲斐ナイン」を全校応援

第100回全国高等学校野球選手権山梨大会において、スタンドで全校生徒が七色(赤青緑黄橙桃黒)のカラフルな縦割り団Tシャツを着て応援しました。このTシャツは、6月下旬に行われた紫咲祭で、縦割りの団で使用したもので、昨年度生徒総会で「団Tシャツで高校野球を応援したい」という要望が出され、今年初めて夏の高校野球の応援で着用することになりました。

生徒会副会長の井原太郎君(3年押原中)は「学園祭の縦割り団Tシャツを着ることにより、団や全校の一体感をより一層深めることが出来ました。今年度、野球応援で初めて着用しましたが、これからずっと本校の伝統になってほしいです。」と感想を語ってくれました。

